

議会広報特別委員会

日 時	令和 6年10月 2日 (水) 閉会中	15時58分 開会 16時37分 閉会
場 所	相良庁舎 4階 第3会議室	
出席議員	(委員長) 8番 種茂和男	(副委員長) 3番 絹村智昭
	7番 松下定弘	6番 木村正利
	2番 谷口恵世	1番 石山和生
欠席議員		
法第105条出席		
事務局	書記 中田 綾	書記 八木裕介
説明員		

署名 _____ 議会広報特別委員長

開会の宣告

○議会広報特別委員長（種茂和男君）

お疲れのところ申し訳ないですけど、早めに終わりたいと思いますので、協力をお願いします。

2 事件 (1) 牧之原市議会だより「かけはし」第76号について

○議会広報特別委員長（種茂和男君）

それでは、市議会だよりの「かけはし」第76号について、ページ構成の決定についてやりたいと思いますので、事務局のほうから説明をお願いします。

○事務局書記（八木裕介君）

それでは、私のほうからご説明をさせていただきますので、フォルダの中にあるページ割り（第76号）というものをお開きください。

ページ割りなんですが、前回ちょっとお話をさせていただいたのですが、18、19ページにつきまして、市民会議のほうを1ページとするか、18、19で2ページ使ってしまうかというものなんですが、皆様の案をということで前回終わったのですが、事務局のほうで考えさせていただいて、今回の9月定例会で意見書、再審法のものと、地震財特法で2個意見書が出ましたので、もしよろしければ市民会議のほうを1ページで、総務と文教上下で分けるような形で入れた上で、左側のページ、19ページに当たるもので上下に分けて再審法と地震財特法のもの載せればよいのかなというようなところで、20ページの裏側、上段の部分についてはまだ未定でありますので、皆様で決めていただければと思います。

もちろん18、19ページ、市民会議ということもできますので、その辺り含めてご協議いただければと思います。

○議会広報特別委員長（種茂和男君）

今、事務局のほうから説明がありましたけど、18、19ページ、そのような内容でよろしいですか。

[「異議なし」と言う者あり]

○議会広報特別委員長（種茂和男君）

では、それをお願いします。

今日一番重要なのはあれですね、この前の。

事務局。

○事務局書記（八木裕介君）

18、19ページにつきましては、市民会議と意見書となったんですが、20ページの裏側上段、よくこの後ろに乗せている研修等の特集ページのほうを一度皆様で決めていただければと思うんですが、ご意見がある方はいらっしゃいますでしょうか。

○議会広報特別委員長（種茂和男君）

20ページの取組ですね。

谷口委員。

○（谷口恵世君）

意見書のほうを19ページに載せているんですけど、それについての勉強会をやったという再審法の勉強会については載せたほうが、意見書を出すに当たって勉強をしっかりとしたよということは示せるのかなというところはあるので、二つとしたら、ほかにもあれですけど、載せられるなら二つですけど、一つだったら、それも載せたほうがいいんじゃないかなとは思いますが。

○議会広報特別委員長（種茂和男君）

両方じゃなくて。

○（谷口恵世君）

20ページの上に、2個載せるとしたら、もう1個何か載せたほうがいいと思いますけど、1個は取りあえずは再審法の勉強会の様子は載せたほうがいいんじゃないかなと思います。

○議会広報特別委員長（種茂和男君）

再審法ね。地震のほうは。

○（松下定弘君）

勉強会やっていないから。勉強会をやったほうを載せる。

○議会広報特別委員長（種茂和男君）

載せるということね。勉強会のほうだけ。

○（谷口恵世君）

だけというか、それは二つ載せられないのか。

○議会広報特別委員長（種茂和男君）

事務局。

○事務局書記（中田 綾君）

前回もしかししたら少しお話しさせていただいたかもしれないんですけど、裏表紙に何件か載せているパターンが過去にありまして、このときは3件のものを載せていたり、このときは2件のトピックスを載せていたり、ボリュームを調整することで2件、3件載せることは可能かなと思いますので、今回出させていただいた中から、何件どれを掲載するかをお決めいただければなと思います。

○議会広報特別委員長（種茂和男君）

どうですかね。

石山委員。

○（石山和生君）

私は再審法と高台の二つでいいんじゃないかなと。写真つきでやれば、2個だったら入るんじゃないかなと思いました。

○議会広報特別委員長（種茂和男君）

木村委員。

○（木村正利君）

自分も今、石山委員と同じように、載せるとしたら二つ。高台のほうもやっぱり市民の関心があるところなので、ここら辺が三つも四つもというよりも、二つぐらいでいいんじゃないかなと感じます。

○議会広報特別委員長（種茂和男君）

その二つということで、よろしくをお願いします。

○事務局書記（八木裕介君）

最終確認になりますが、18ページが市民会議で総務と文教、19ページが意見書ということで、再審法と地震財特法で1ページ、20ページが上段を二つに分けて、議員勉強会の再審法のもの、高台への現地視察の記事ということでよろしいでしょうか。

〔「異議なし」と言う者あり〕

○事務局書記（八木裕介君）

ページ割りが決まったということで、今度皆様のほうで投票していただいた決算と補正の担当の委員を決めていただければと思うのですが、まず最初に決算連合審査質疑箇所の資料をご覧ください。

○議会広報特別委員長（種茂和男君）

これは黄色とあれで決まっている。集計が出ているじゃんね。なので、どうする。黄色と桃色で決まっているんですか。

○事務局書記（八木裕介君）

皆様のものを集計させていただきまして、3票集まったものと2票集まったもので色分けをさせていただいております。3票集まったものが黄色のもので4件ございます。2票のものが桃色で8件ございまして、合計で12件分、着色をさせていただいております。

今回、決算連合審査に載せる質疑の箇所としまして、8件から10件程度を予定しておりましたので、12件ということになりますが、委員長のほうで12件分、各委員に割り振っていただいて、ご提出いただいて、その中から委員長の権限ということで、10件分決めていただくような。

○議会広報特別委員長（種茂和男君）

2件外すということね。

○事務局書記（八木裕介君）

ページのスペース等も鑑みて調整をして。

○議会広報特別委員長（種茂和男君）

取りあえず、12件をみんなで書くように、今から割り振っていくということで、やるということですね。

谷口委員。

○（谷口恵世君）

まず、つくってから絞り込むということですか。それだと、捨てるんだったらつくらなくていいと思うんですよ。

○議会広報特別委員長（種茂和男君）

石山委員。

○（石山和生君）

多分ボリュームの調整をしたいということだと思うので、捨てられるかもしれないけど、やるということなのかなと思いましたけど、そういうことですよね。

○議会広報特別委員長（種茂和男君）

事務局。

○事務局書記（八木裕介君）

もし削るようでしたら、桃色のものが2票のものになるので、今8件分の質疑が載っていますので、ここから6件に絞り込めば、ちょうど掲載予定の件数となるので。

○（谷口恵世君）

字数、大体決められるじゃんね、これで。割り振りしてしまえば。それなら、最初から10件にしたほうがいいんじゃないですかね。委員長が削るでは、ちょっと大変じゃない。みんなで選んでおいて。

○議会広報特別委員長（種茂和男君）

なので、ピンクのところから2件選んでしまって、ピンクのところを取りあえず、2件。黄色は決定として。

どういう手の上げ方をすればいいかな、2件。

○事務局書記（八木裕介君）

では、黄色のものは決定とさせていただきます、桃色のものが今8件あるので、1人2票として手を挙げていただいて、その中から多いもので2回。

○議会広報特別委員長（種茂和男君）

外すものに手を上げろということ。

○事務局書記（八木裕介君）

入れるものに。

○（谷口恵世君）

入れるものに2回手を挙げる。

○議会広報特別委員長（種茂和男君）

入れるものに。

○（石山和生君）

今、二つ絞るという話だと思うんですけど、34番あるじゃないですか。34番の活性化センター運営事業費、37番に確定の同じまきのはら活性化、全く同じで、質問も成果をどのように捉えているかと、事業について増えていないので、似てるといえば似ているから、34は消してしまってもいいのかなと。

○議会広報特別委員長（種茂和男君）

どうする。

○（谷口恵世君）

あと1個。

○事務局書記（中田 綾君）

そうすると、掲載しないものを選んだほうが早いかもしれません。

○（谷口恵世君）

掲載しないものを選ぶって何かちょっとあれだね。それよりやっぱり、いいものを選んだほうがいいよね。

○議会広報特別委員長（種茂和男君）

取りあえず、いろいろご意見。

○（石山和生君）

じゃあ、同じく2票で。

○（谷口恵世君）

2票で。

○（木村正利君）

いいですか、自分の意見を言って。

やはり市民の関心度といったときに、ICTサービスのところの業務、13番ですね、石山委員から、私たちについてはいい質問なんですけど、一般市民がこのところの問いというのは、ちょっと載せるところで、あまり興味がないんじゃないかなと感じるんですけど、いかがでしょうか。

僕が言っているのは13番が、ある程度専門的なことで、一般市民の関心度といったら。

○議会広報特別委員長（種茂和男君）

絹村委員。

○（絹村智昭君）

その件もあるかもしれないんですけど、それこそ15番、ホストタウンのこれ、12番にホストタウンが上がってきているので、なので、もしあれならホストタウンのほうを。

○議会広報特別委員長（種茂和男君）

ダブっているね。

○（絹村智昭君）

なので、木村委員が言った13のほうは。

○議会広報特別委員長（種茂和男君）

13を活かして。

○（絹村智昭君）

活かしてという感じで自分は考えましたけど。

○議会広報特別委員長（種茂和男君）

じゃあ、そのほうがいいですかね。そのほうがダブってなくて。

谷口委員。

○（谷口恵世君）

私は、もともと例えば今の12番と15番ってホストタウン事業についてで、本当は深掘りしてある質問で同じ質問、さっきもあつたんですけども、そういうのは少し本当は深掘りしてある内容を一緒に載せたほうがいいかなというのは、最初の提案だったんですけど、それは事務局のほうからも、1個ずつにしてくれという話だったので1個にしたんですけど、実は私はここは、12と15は1個にまとめて最初出したんですよ。だから、もしあれだったら、12をまとめる中で15も見て、1行とか2行でも中身を入れればいいのかないかなというのは、ちょっと思いました。

○（石山和生君）

さっきの話も34も。

○（谷口恵世君）

さっきの話も、33、34、37って全部関連しているから、それを本当はまとめてもいいのかなとは思っていました。

○議会広報特別委員長（種茂和男君）

石山委員。

○（石山和生君）

僕もすごい賛成なんですけど、そもそも事務的にそれはいけそうですか。

○事務局書記（八木裕介君）

一応一応質疑の際に、款項目ごとをやっているかと思しますので、皆様質問するときも関連質問でということをやっているの、会議録をつくること自体は手間はいいです。

○（石山和生君）

会議録というか、広報に書くという文脈では大丈夫なんじゃないですか。じゃあいいです。

○議会広報特別委員長（種茂和男君）

当たった人は、それを合体したように。とにかく100文字で書くので、それが両方入れればあれなんですけど。

そういうことで、結果としては、34と。

○（木村正利君）

34と37が合体した。

○議会広報特別委員長（種茂和男君）

12と15。

最初から振っていきますけど、よろしいですか。

じゃあ、1番の市税のほうを松下委員、9番の国際交流を谷口委員のほうでお願いします。ホストタウン、12番が石山委員で、12と15を合わせた文章で。13番を木村委員のほうでお願いします。28番の母子を絹村委員でお願いします。私のほうで、34番と、37番を合体のを種茂副委員長。38番が松下委員。43番を谷口委員のほうで。54番を石山委員のほうでお願いします。59番を木村委員でお願いします。

それでは次、特別会計のほうを幾つにする。

○（谷口恵世君）

次は補正予算です。

○議会広報特別委員長（種茂和男君）

補正のほうで、何点選ぶ。4点。

○（谷口恵世君）

黄色のところですよ。

○事務局書記（八木裕介君）

補正予算のほうなんですけど、黄色に着色してあるものが5票のもので1件分、桃色に着色してあるのが4名の方が投票したもので2件ございまして、青色が3名の方が投票されたもので1件、最後緑色のものが2票のもので2件ございまして、計6点になります。

もともとの掲載予定の件数が5件になりますので、もしよろしければ緑の2票だったものが二つございまして、どちらかということでお選びいただければと思います。

○議会広報特別委員長（種茂和男君）

掲載するほうへ皆さんのほうで手を挙げて、どっちが多いかという。

3と10で。

谷口委員。

○（谷口恵世君）

今回、決算のほうで質問事項がかなり多いんですね。補正は本当にやっぱり薄いので、補正のほうの数の割当がもうちょっと決算のほうを多くしたほうがいいんじゃないかなと

最初思ったので、委員長に一応ご相談させていただいたんです。と思ったんですけど、それは面倒くさいよとなるのと、ページの割当とかがあれば、ちょっと難しいんですけれども、という意見を述べさせていただきました。

○議会広報特別委員長（種茂和男君）

石山委員。

○（石山和生君）

それというのは、決算のものを1個減らしてこっちを1個増やすということですか。

○（谷口恵世君）

決算のほうに質疑が多いので、決算のほうにもうちょっとボリュームを持って行って。

○（石山和生君）

決算がまた別であるということ。

○（谷口恵世君）

決算。そっちのボリュームを少し増やして、補正予算のほうを少なくしたい。

○（石山和生君）

逆か。

○（谷口恵世君）

のほうに、補正予算のほうの質問の量を見ても、決算のほうが多いので、そっちのほうに大事かなというふうには思ったので。

○（石山和生君）

そこは理解しました。できるかどうかは。

○事務局書記（八木裕介君）

今回、掲載予定の件数を決めさせていただいたものなんですが、ページ割りのほうを見ていただくと、2、3ページが見開きで決算としてあるので、1ページ当たり5件分載せるものと考えまして、それを基準に10件分としてあるので、もし割当を増やす場合ですと、例えば4ページ目の半分を決算として、4ページ目の半分から下を9月の定例会の報告というような形で、最終的に補正のページが削れるようにずらしていくという方法はできません。

○（石山和生君）

ページが別になってしまうということ。

○（木村正利君）

これだけ昔より質疑が多くなっているから。

○（石山和生君）

僕はどちらでも構わないです。

○議会広報特別委員長（種茂和男君）

見栄えがいいほうがいいんだけど。どう考える、そういった場合。減らしたほうがいい。

○事務局書記（中田 綾君）

それこそ、見栄えというか、ページ割りの関係ですけれども、決算見開き1ページでちょうど終わる形になっていますので、もし決算を増やした場合は、次のページの半分だけに決算が飛び出す形で、9月定例会のボリュームのほうもかなりあるかなと思うので、9月定例会のページをそのまま1ページとした場合、こういうふうにはまたがる掲載にはなる

かなと思います。

○**議会広報特別委員長（種茂和男君）**

事務局の言うように、補正予算のほうを一つ減らす。グリーンから一つ減らすということ。

○**事務局書記（中田 綾君）**

グリーンから掲載したいほうを。

○（谷口恵世君）

どっちを掲載するか。

○**事務局書記（中田 綾君）**

掲載したいほうを、一人お一つ。

○**議会広報特別委員長（種茂和男君）**

3番か10番。

○（木村正利君）

とにかくこの二つなので、挙手でやってみてください。

○**議会広報特別委員長（種茂和男君）**

どうする、減らすほうへ手を挙げる。

○（石山和生君）

どっちでも。

○（木村正利君）

どちらでも。

○**事務局書記（中田 綾君）**

緑の中からお選びいただく。

○（木村正利君）

二つだけだけど、減らす。

○**議会広報特別委員長（種茂和男君）**

3番か10番、掲載したいほうを手を挙げる。

○（谷口恵世君）

すみません、委員長。予防接種の事業費に関して、担当がまとめることになると思うんですけど、内容の中に、ちょっと議会の中での発言では個人を特定するような発言が含まれていたの、そういうのは牧之原市議会の広報としては、あまりその内容は載せないほうがいいのかないかなというふうに思うので、もしこっちを選ぶ場合は、そこを調整してというのはしたほうがいいのかないかなと思います。

○**議会広報特別委員長（種茂和男君）**

今そういったご意見があったので、10番を減らせばいいじゃん。

○（谷口恵世君）

だけど、予防接種に関しての情報は市民も知りたいのかなというのはちょっとあるけど、それは分からないです。ただ、そうなった場合はそうしたほうがいいのかないかなという意見です。

○**議会広報特別委員長（種茂和男君）**

それは予防接種のほかのあれで出るでしょう。いろいろ予防接種に関して。

○（谷口恵世君）

市のあれでは出ないんじゃないかな。厚労省のほうで発表していることなので、市で出るかは分かりません。厚労省では出ていますけど。

○（松下定弘君）

市としては個人情報って言っていたよね。なので、出しにくいと。

○（木村正利君）

そういう先入観無しで、どっちか。

○（谷口恵世君）

それでもいいことだと思うんですけど。

○議会広報特別委員長（種茂和男君）

では、そういったご意見があるので、10番を減らすか。

○（石山和生君）

せっかくだから決取っておいて。

○議会広報特別委員長（種茂和男君）

では、挙手で。

3番を外したほうがいいと。

○（谷口恵世君）

選ぶ。

○議会広報特別委員長（種茂和男君）

3番を選んだほうがいいと思う人は挙手。

10番を外す。

今どこまで行ったんだっけ。

3番が茶業が絹村委員で、4番が私で、5番が松下委員で、9番が谷口委員で、10番が外した。なので、11番が石山委員。

以上でいいですね。

○（絹村智昭君）

一点だけ。さっき谷口委員からあったけど、個人を特定するような発言がこの中であつた。

○（谷口恵世君）

例えば、年齢によってとかいうことで、若い方が、この議員さんがおっしゃった中では、若い方が亡くなったということを私は聞きましたけどという、そういうことが多い。

○（木村正利君）

言い方が、いつもこの議員さんの言い方は何か。

○議会広報特別委員長（種茂和男君）

いいですか。ちょっと事務局のほうで何か言いたそうな。

○事務局書記（八木裕介君）

決めていただきありがとうございます。

では、決算と補正の質疑の担当が決まりましたので、また事務局のほうから原稿の依頼のほうを出させていただきますので、ご対応をよろしくお願いいたします。

以上でページ構成の最終決定とさせていただきますたいのですが、よろしいでしょうか。

○議会広報特別委員長（種茂和男君）

お願いします。

今日の内容的には以上ですか。

○（木村正利君）

いろいろとやるが多くて、10月4日までに一般質問と、今後のスケジュール、今決まったものの、あらかたのイメージ、これを編集する予定も分かったら教えていただけますか。

○事務局書記（中田綾君）

それこそ10月4日が一般質問と、あと通告質疑、総括質疑も10月4日までに提出となっておりますので、定例会のページの質疑の部分については、第3回、次回の委員会で埋まってくるかと思えますけれども、今日割り振っていただきました補正と決算の質疑につきましては、提出の締切を第4回の委員会の前とさせていただく予定でありますので、その部分については第3回については空白という形になります。

討論、今日、本会議場であったかと思えますけれども、討論につきましても、いつも提出の期限を10月4日、通常の質疑については設定しておりますけれども、討論も少し後ろにずらした期限とさせていただいておりますので、討論につきましても、原稿ができ次第となりますので、恐らく第4回のところで反映となるかと思われます。

ですので、原稿の依頼をさせていただくのが会議録が来てからになりますので、会議録が来てから依頼させていただいて、第4回の委員会の前までに補正と決算の質疑の原稿をご提出いただく形となります。

特集ページに関しては、既に終わっているものがほとんどですので、事務局で適宜第3回、第4回までに埋めていく予定でありますけれども、視察研修の記事に関しましては、割り振りをしていただきましたので、ご提出があり次第、反映させていただく予定であります。

○（谷口恵世君）

この間、種茂委員と木村委員と私の3人。岡山、明石、京都の。

○（木村正利君）

三つに分けたじゃん。

○議会広報特別委員長（種茂和男君）

誰がどこをやるか決めた。

○（谷口恵世君）

決めたっけ。

○議会広報特別委員長（種茂和男君）

決めていないでしょう。

○（松下定弘君）

行った人が決めて下さい。

○議会広報特別委員長（種茂和男君）

誰がどこか。

○（石山和生君）

いずれにせよLINE WORKSで示してもらえるとということでいいですよ。

○議会広報特別委員長（種茂和男君）

なので、最初に順繰りでこういうふうに決めたから、一番最初のところ、2番目と3番というところ。

○事務局書記（八木裕介君）

期限等を含めて、また皆様のほうにLINE WORKSでご依頼をさせていただきま
すので、恐らく今頼んでいるものになりますと、一般質問のものが一つと、今から、これ
からLINE WORKSで頼むものの決算と補正の質疑の原稿が1件ずつ。

あと、文教の方は視察研修のものと同一般質問のチェックがまた次の。

○議会広報特別委員長（種茂和男君）

文協の3か所行きましたよね。そのものは、一人が何字ぐらい。

○事務局書記（八木裕介君）

視察研修のページで1ページ取ってありますので、大体1ページに800文字程度になる
かと思ひまして、今回4か所分になりますかね。岡山で2か所あるので。

○（谷口恵世君）

岡山、明石、京都でいい。

○（石山和生君）

取りあえず、全体で800文字。

○（谷口恵世君）

それはいいよね、割り振りは私たちのあれなので、それは・・・。

○事務局書記（中田 綾君）

視察研修の記事に関してなんですけれども、通常、視察の報告の記事のここに、行った
日付と場所を書くところがありまして、多分社協も1件としますと、ここに4件載ってき
ますので、そうすると、ここが対応するものが4件あったほうがいいのかなどはちょっと
思うんですけれども。

○議会広報特別委員長（種茂和男君）

なので、岡山が二つじゃんね。

○（谷口恵世君）

それはそれで、岡山は岡山で、別にそれはそれで、明石で京都にする。

○議会広報特別委員長（種茂和男君）

400、200に分けて、二つなら。字数が。

○（木村正利君）

事務局、いい。取りあえず今、編集が、この広報もそうなんですけど、いろんなところ
がぐちゃぐちゃしている中でもう一回確認なんですけど、今日ところのやつも、取りあえず
10月4日の締切を今バタバタやっているんですけど、それ以外のときにと言ったときに、
3回ぐらいまでの余裕はまだあるわけですよ。この10月11日。だから今、広報のところ
のいろんな担当が決まったものとか、最低限それ。

○（谷口恵世君）

日にちを知りたい。

○（木村正利君）

それだけざっくりと。

○（谷口恵世君）

何日まで。

○（木村正利君）

3回とか言われても、自分の中へ入らないので、それを教えていただきたいんですけど。

○事務局書記（八木裕介君）

ご依頼させていただいているものの日にちということで、まず一般質問が10月4日、その後、今回の委員会で決めさせていただいた補正と決算の原稿が、恐らく10月15日を締切でご依頼をさせていただくかと思えます。

視察研修の原稿につきましても、同じぐらいでいただければありがたいんですが。

○議会広報特別委員長（種茂和男君）

10月15日。

○（谷口恵世君）

一番最終だったら。

○事務局書記（八木裕介君）

遅くても17日までにいただければ。

○（木村正利君）

取りあえず、自分の中でリミットは15日に決めておいたらいいかなど。

これだけだよね。

ありがとうございます。

○議会広報特別委員長（種茂和男君）

以上でよろしいですか。

○（石山和生君）

すみません、こんなぎりぎりのやつでやりたくないんですけど、随分前に表紙の件はもちろんあったと思うんですけど、表紙の前に、そもそも何か変えますとかって言った覚えがあって、それを要するに表紙と同時に変えるというんだったら、それを次の広報委員会の人たちにしっかりと残す必要があるし、そうじゃなくて、表紙はできないけど、それ以外はやるというんだったら、それはそれでどんどん話していかないと、いつの間にか終わるみたいな話になる気がするので、今じゃなくて全然いいので、次回の議題とかに、その他じゃなくて議題に上げてもらって、意見をする場を設けてもらいたいなと思えます。

○議会広報特別委員長（種茂和男君）

関連で。

○（絹村智昭君）

それこそ、表紙の件はもう決定されちゃっているんで、中身に関してはもう自分たちも聞いていると思うんですけど、新しい斬新なものでも構わないよ、中身でよかったら、この委員会の中で決めてくれればいいという話を聞いているので、後期のいろいろ提案とか一回出してどうするか。そういうのも結構だよと、中身に関してはオーケーだと思いますので。

○（石山和生君）

すごい大きな方向性はもう示していると思うんですけど、それをじゃあ具体的にいつやるかとか、どういうふうに進めていくかとか、多分それそろそろ動かないと、いつの間にか我々解散になる気がするんで、議題に上げてもらえば、協議する場を設けてさえくれ

ば、それがもうちょっと前に進む気がするのではというだけ。

今はやりたくはないので。

スケジュールを委員長、副委員長で議題に上げてくだされば、事務局でもいいんですけど、進むと思うので、お願いします。

○議会広報特別委員長（種茂和男君）

話の中で、どういうふうに取り組んでいくかという。次回とか次の会議の。

○（石山和生君）

もちろん余裕がないときにやる必要はないので、それはお任せするんですけど、いずれにせよ、そろそろ動かないと、いつの間にか終わっちゃうというような感じかなと思います。

○（木村正利君）

関連ですが、やはりこの前の、ここのメンバーの中で議会広報で見やすいのということで研修をやって、いろんな漫画を入れたり、いろんな構成を見やすくしましょうよという中では、一つウェブ配信の話とか、そういうことも上がっていたような気がするんですね。それがいつの間にか、表紙のことでぐちゃぐちゃになっちゃっているんで、そこら辺のことも、例えば今回、石山委員がおっしゃるとおり、取りあえず今できることの中では、次に関わる人にも、例えば予算的なこと、DXを含めたところも予算が必要だよねというところを残していかないと、広報としての改革ができなくなるというのも、もう一回、さっき石山委員が言ってくれたので、そこら辺をもう一回読み合わせた中のところをチェックだけしておいたほうがいいのかと思います。

○議会広報特別委員長（種茂和男君）

今皆さんから出たように、時間のある時にまたそれを決めて、副委員長が言ったように、表紙だけはとにかく従来どおりで、あとの内容については、また斬新的な部分が皆さんのほうであれば、随時取り入れてやっていきたいと思っておりますので、そのぐらい。

3 その他

○議会広報特別委員長（種茂和男君）

今日はそんなところでよろしいですか。

〔「なし」と言う者あり〕

○議会広報特別委員長（種茂和男君）

どうもありがとうございます。

〔午後 4時37分 閉会〕